

令和3年 新年号

仙台市

農業委員会だより

編集と発行 仙台市農業委員会
 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
 TEL 022(214)4308(直通)
 FAX 022(215)5803

発行日 令和3年1月1日

ホームページ <https://www.city.sendai.jp/shinko/jigyosha/kezai/norin/nogyo/sendaiishi/index.html>



令和2年10月に生まれた雌の子牛。名前は「てんか」（泉区根白石）



このような中、農業委員会では、農業経営者が安心して経営を継続できるよう、「新型コロナウイルス関連の改善すべき施策」を意見書としてまとめ、仙台市に提出しました。市の施策充実とともに、市から国・県に対して早急な施策の展開を求めるよう要望しています。

7月には、農業委員、農地利用最適化推進委員の任期が満了となりますが、残りの任期も全力で職責を全うすることを約束するとともに、新型コロナウイルスの終息を願い、年頭のご挨拶とさせていただきます。

明けましておめでとうございます。皆様には、日頃から農業委員会の活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって、経済活動は大きな打撃を受けました。農業の分野においても、農畜産物の消費減少や価格の低迷など、依然として厳しい経営状況が続いています。



仙台市農業委員会

会長 佐々木 均

農業委員・農地利用最適化推進委員の募集について

令和3年7月に農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期が満了することに伴い、それぞれ次期委員の募集を行っています。

● 農業委員（市長が任命）

● **主な職務内容**：毎月の総会に出席し、農地の権利移動の許可等について審議し、決定等を行います。

また、農地利用最適化推進委員と連携し、遊休農地の発生防止・解消のための農地パトロール等の現場活動を行います。

● **任期**：令和3年7月15日～令和6年7月14日

● **報酬(月額)**：63,000円
(会長78,000円、会長職務代理71,000円)

● **募集人数**：19人

● 農地利用最適化推進委員

(農業委員会が委嘱)

● **主な職務内容**：担当区域において、農業委員と連携して、遊休農地の発生防止・解消のための農地パトロールや担い手への農地集積を推進するための農地の貸し手・借り手の掘り起こしなど、主に地域に密着した現場活

動を行います。

● **任期**：令和3年7月(委嘱日)～令和6年7月14日

● **報酬(月額)**：40,000円

● **募集人数**：34人(区域毎に人数あり)※左表を参照

区域名	募集人数	区域名	募集人数
宮城	4人	西多賀	1人
原町	1人	中田	2人
岩切	2人	生出	1人
高砂	3人	秋保	2人
七郷	4人	泉	3人
六郷	5人	根白石	5人
長町	1人	総数	34人

※いずれも募集締め切りは、令和3年1月25日(月)必着です。応募方法等詳しくは、各募集要項をご覧ください。募集要項は、仙台市農政企画課、農業委員会事務局、各区役所・総合支所窓口、JA仙台各支店にて配布しているほか、市ホームページにも掲載しています。



農業委員



農地利用最適化推進委員

JA仙台女性部及び青年部との懇談会を開催しました

昨年11月26日(木)、農業委員会委員室において、JA仙台女性部・青年部の役員6名と、担い手育成及び新規就農促進をテーマに懇談会を開催しました。

女性部からは「後継者不足が問題」「農地の集約化を進め農地を守ってほしい」「新規就農者のために農地を提供したい」などの意見が出ました。



(農業委員)

また、青年部からは「青年部の部員数を増やし、組織活動を充実させたい」「経営規模も拡大したい」など、意欲ある積極的な意見が出されました。

皆さんの貴重なご意見を生かし、今後も地域に根差した活動を進めていきます。

加藤(和江)

農地法第3条の許可実績

令和2年7月から10月までの農地法第3条(売買・貸借等)の許可実績は次のとおりです。

区	月	7月		8月		9月		10月		計	
		件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)
青葉		3	10,990	3	19,262			1	2,516	7	32,768
宮城野		2	515	1	1,028			1	17,074	4	18,617
若林				4	8,623			4	28,756	8	37,379
太白		1	5,709	2	2,954	4	3,134			7	11,797
泉		3	4,512	5	986					8	5,498
計		9	21,726	15	32,853	4	3,134	6	48,346	34	106,059

令和3年度農作業標準料金等の設定について

令和3年度の農作業受委託の目安となる農作業標準料金を1月に設定し、JA仙台の広報紙「JAせんだい」2021年3月号に折り込む予定です。また、仙台市農業委員会のホームページにも掲載しますので、ご覧ください。

事務課 振興係

電話 214-4353

経営意向調査に基づくマッチング活動を行っています

令和元年度に実施した経営意向調査の回答をもとに、「農業を辞めたい」あるいは「規模を縮小したい」等と回答した1,085戸の農家に対して、農業委員と農地利用最適化推進委員が、昨年8月からご自宅を訪問し、具体的な聞き取りを行いながら賃貸借等のマッチング活動を行っています。

令和2年農地賃借料情報

令和2年1月から12月までに締結した賃借料水準の平均額は次のとおりです。

この情報は目安ですので、実際に農地賃借をする場合は、対象農地の状況等を考慮し、お互い協議のうえ賃借料を設定してください。

1. 田 (10a当たり・単位:円)

地域及び区分		農用地区域	左記以外
平坦地域	宮城野区	11,700	11,500
	若林区	12,000	11,000
	太白区	10,500	11,700
	泉区	8,500	9,000
中山間地域	青葉区	6,900	6,600
	太白区		
	泉区		
仙台市平均		11,000	10,400

2. 畑 (10a当たり・単位:円)

地域及び区分	農用地区域	左記以外
仙台市平均	9,400	7,200

※中山間地域：青葉区（宮城、茂庭、折立）、太白区（生出、秋保）、泉区（実沢、小角、西田中、根白石、福岡、朴沢）
※農用地区域：農業振興地域の整備に関する法律に定める農用地区域

その活動内容の一部をご紹介します。

【太白区生出区域】

「人・農地プラン」の実質化に向けた活動と位置付け、マッチングの進め方について、生出区域の農業委員、農地利用最適化推進委員で打ち合わせをし、農地の出し手の農家へ活動内容をどのように知らせるのかを議論しました。

生出区域では、出したい農家が所有する農地の大半は耕作条件が悪く、農地の集積が進まないのが現状です。受け手の農家へ集積できる工夫を考えるため、JA仙台の実行組合長会議でこの取り組みをさらに周知し、受け手となる農家については、個別に掘り起こしを行っていくことにしました。

（農業委員 嶺岸 若夫）

【太白区秋保区域】

我々、中山間地域に住む者にとって、農地の流動化は大変難しい問題です。地権者が離農すると農地の管理がされなくなり、遊休農地が増える、その繰り返しです。昨年の10月に、経営意向調査で「すぐに辞めたい」と回答があつ



【太白区中田区域】

1軒ずつ訪問して聞き取りを行っています。

た農家の畑を、秋保区域の農業委員、農地利用最適化推進委員の3名で確認に行きました。鳥獣害対策の電柵が設置されていましたが、周りには笹竹が生い茂り、耕作可能な面積は3分の1ほどに減っていました。
耕作ができなくなった農地は、すみやかに担い手等で耕作する必要があると実感し、農地の流動化を今後進めていきたいと考えています。

（農業委員 中野 勲）

新規就農者をご紹介

あなたの出番です

宮城野区岩切にお住まいの堀井 利一さんにお話しを伺いました。



肉厚のキクラゲが育っています

Q 農業に従事するきっかけは？

A 前職は医薬品の研究職でしたが、東日本大震災の後、過労により体調を崩して退職しました。それでも、健康を支える仕事があったかったこと、そのころちょうど家族が増えて、食べ物の安全性に関心が向いたことなどがきっかけで農業にたどり着きました。キクラゲは健康食材として優秀なキノコですが、当

時は国産のものがほぼなかったので、自分が生産してみようと思いました。

就農5年目になります。

Q 農業の魅力は何ですか？

A 試行錯誤して、より良い品質のものが育ったときの手ごたえと、対面販売やイベントなどでお客様から「おいしかったよ」と言ってもらえたときの達成感

は、農業の醍醐味だと思います。

Q 大変だったことは何ですか？

A 最初は国産のキクラゲの知名度が低かったこともあり、販路の開拓が大変でしたが、たくさんの方々に支えられて販路が広がりました。

Q 今後の目標を教えてください。

A キクラゲは、あらゆる年代の方に食べてほしい食材です。プリプリした歯ごたえで、シソやネギ等の香味野菜との相性もいいため、岩切の曲がりネギと一緒に炒めるのもおすすめです。これからもおいしく新鮮なキクラゲを安定生産して、いろんな家庭で当たり前のように食卓にのぼる食材になるのが目標です。

(聞き手：編集委員 鈴木 正年)

区域活動報告

(若林区六郷区域)

若林区六郷区域では、農業委員2名と農地利用最適化推進委員5名で、毎月1〜2回農地パトロールや情報交換などを行う区域活動を行っています。

この区域の課題は、名取川流域の河川敷農地の遊休化が進んでいること。度重なる河川の氾濫や東日本大震災の津波による塩害で担い手の意欲が失われ、加えて高齢化により遊休化が目立ち始めています。遊休農地を発見した場合は、所有者・耕作者に、農地を適正に管理するよう指導を行っています。また、「いつ」「どこで」「何をし

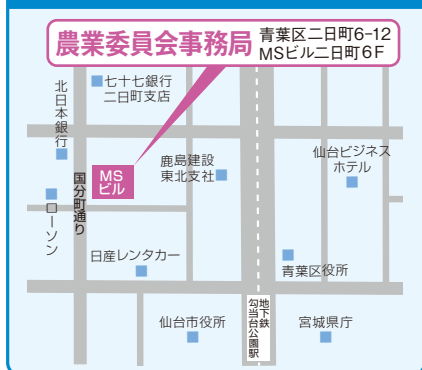


農地パトロールの様子

た」という活動内容について、忘れないよう記録し、現地の写真を付けて冊子としてまとめ、次の活動につなげていきたいと考えています。

(農業委員 高橋 勝彦)

農業委員会事務局 案内図



※駐車の際は、市役所本庁舎の来庁者用駐車場をご利用ください。電話 214-4308

編集後記

昨年、「コロナ」と聞けば嫌なイメージですが、「太陽」の意味もあり農家にとっては生産の源泉です。そんな太陽でも仮に24時間休みなく毎日照らされればどうなるでしょう。収穫は期待できません。作物にも休みが必要なのです。多忙を極める毎日では続きません。しっかりと休憩をとって今日も励みましょう。

(会報編集チーム長 大泉 権吾)